

てらたしずか



県内唯一の女性国会議員として

「政治は、生活そのもの」。

皆さまから頂いた任期の6年間、生活にまつわることを全てが政治課題であることを肌身で感じながら活動してまいりました。

物価の高騰などの家事・家計に関わること、認知症や介護が必要になった家族のこと、子育てに伴う様々な悩みや葛藤、まさしく、政治が取り組むべき課題は、生活そのものにあります。

初当選した当初、県内でたった一人の女性議員であり、周りの男性議員のように活躍ができるかどうか、不安になった時がありました。それでも、「あなたになら話せると思った」「わかってもらえると思った」と、ご家族のことや生活の悩みを打ち明けて頂くことが日に日に増え、そしてそれら一つひとつは、個人的な悩みのように思われても、結局は制度の狭間の課題であったり、突き詰めれば、社会の構造的な問題だということに気付かされました。

そして、それらのご相談のお陰で、私自身に託された役割を自覚するようになりました。もちろん、私などで良いのだろうかと思いが揺らぐこともあります。でも、私にも果た

すべき役割があると自らを鼓舞して頑張っています。なぜなら、育児も家事も介護も全部人任せにして、仕事だけに専念できた人たちが主に政治をしてきた結果が、今の社会なのだと思っているからです。

私は、多くの方と同じように、経済的な困難に苦しんだ時があります。学校に通えず不登校に悩み、このまま消えていなくなりたいと思ったこともありました。弟を亡くして悲しみに暮れ、その痛みを抱えながら、今は子育てと介護、仕事の両立に悪戦苦闘しています。そして、また、多くの女性が味わっているように、息苦しさや理不尽を感じています。それらの生活にまつわる全ての想いや苦しみに共感をしながら、私は生活者のための政治をこれからも徹底して続けたいと強く思っています。

家事、育児、介護、生活の実態を知る一人の女性として、県内でたった一人の女性国会議員として、生まれ育った秋田と、子どもたちの未来のために一生懸命頑張ってまいります。あなたのお力を貸してください。精一杯頑張ってまいります。どうぞよろしくお願い致します。

寺田 静

物価高へ大胆な対策を

- 食料品など生活必需品の消費税を引き下げて、家計負担を減らします。
- 暫定税率や二重課税の廃止で、ガソリン代など燃料費負担を減らします。
- 物価高に負けない賃上げで、現役世代の手取りを増やします。

生活に関わる困難の解決を

- 育児・介護と働くことが無理なく両立できる社会を構築します。
- 不登校でも学べる環境を創る為に、フリースクールやNPOを支援します。
- 子育てを社会全体で支えるため、経済的・人的サポートを拡充します。

農林水産業は命を支える人間生活の要

- 農業・林業従事者の所得を確保して多様な担い手と地域を守ります。
- 生産者と消費者双方が納得できる農産物価格の合意形成を図ります。
- 沿岸で取れる魚種の変化に対し、養殖業と新魚種の市場開発を支援します。



地域経済

秋田経済のけん引役である中小企業が個性や可能性を存分に伸ばすことができるよう、社会保険料などの事業者負担を軽減して企業や商店が事業承継し、さらには事業拡大に挑戦できるよう支援します。

災害対策

災害に強い郷土をつくるために、河川改修や山林保全などの総合的な流域治水、効果的な除排雪のための人材確保と体制整備、老朽インフラの更新や住宅の耐震化などで事前防災の取り組みを進めます。

年金・介護・医療

安心して年を重ねることができるよう、持続的な年金制度への改革を急ぎます。医療・介護従事者の待遇改善をし、制度の見直しによって安心できる医療・介護体制の構築を目指します。

障がい者福祉・医療的ケア児

障がい児・者や医療的ケア児・者とその家族を孤立させない支援を充実させます。入園や就学、就労に伴う課題や「18歳の壁」「親亡き後」などの課題を、当事者や家族・支援者とともに解決していきます。

環境問題・動物愛護

暮らしに大きな影響を及ぼす気候変動対策や生物多様性の保全、動物愛護、動物福祉などの課題に取り組みます。環境負荷の低減を目指し、再生可能エネルギーや省エネの促進を一層加速させます。

女性・ジェンダー平等・人権

性別による教育格差や賃金格差を解消し、人権が尊重され、誰もが自分らしく暮らすことのできる社会を目指します。男女ともに仕事をしながら無理なく家事・育児・介護に参加できる環境を整えます。



プロフィール: 寺田静(てらたしずか) 1975(昭和50)年、横手市生まれ。横手城南高校中退後、大検取得、育英会の奨学金を受け早稲田大学入学。卒業後、東京大学生産技術研究所勤務。不登校だった自らの経験からフリースクールにてボランティア。この間、弟が突然の病に倒れ、遷延性意識障害(いわゆる植物状態)を経て亡くなる。この出来事が人生に対する考え、生き方に大きな影響を与えた。米国留学後、国会議員公設秘書等を経て**2019年参議院選挙で初当選。国会では農林水産委員会等に所属し、質疑は約70回。**国際人口問題議員懇談会幹事、医療的ケア児者支援議連事務局次長。児童養護議連、ママパパ議連、インクルーシブ雇用議連、自殺対策議連、学びの多様化議連、子どもの貧困対策議連、UNHCR議連、LGBT議連、補助犬議連などに所属。全ての子どもの育ちと学び、介護、男女格差の是正、里親委託の推進、農業振興、環境問題、地方の課題等に取り組む。夫と息子(小学生)の3人家族。

